

予算の主な使いみち

安心のまち蒲郡

少子高齢化社会に対応した

福祉施策の充実

★中央子育て支援センターの開設
旧市民病院の院内保育所を改修
し開設します。現在保育園内にあ

る東西の支援センターとは違い、
予約せずにいつでも利用できるよ

うにします。また、弁当やおやつ
なども食べることができ、気軽に
立ち寄れる場となる「つどいのひ
ろば」型の支援センターとします。

★後期高齢者医療制度

4月から、高齢者の方だけの新
しい医療制度である「後期高齢者
医療制度」が始まります。これは、
75歳（一定の障害がある人は65歳）
以上の方が加入する医療保険で、
愛知県後期高齢者医療広域連合と
市が協力して運営します。

市は、受付などの窓口事務や保
険料の徴収などを行います。
人にやさしいまちづくりの推進
★子ども医療助成制度

県が福祉医療制度の拡大・見直
しをするのにあわせ、乳幼児医療
費助成事業を「子ども医療費助成
事業」とし、医療費助成の対象を
拡大します。

費助成事業を「子ども医療費助成
事業」とし、医療費助成の対象を
拡大します。

これまで、6歳未満児まで、通

院や入院の医療費自己負担額を助
成していましたが、4月から通院
は小学校卒業まで、入院は中学校
卒業までに拡大します。

こころ豊かな教育の充実

★特色ある学校づくりと少人数学
級

蒲郡市学校教育ビジョン「子ども
もの夢をはぐくむ学校教育」の実
現に向けて、市内全小中学校が特
色ある学校づくりに取り組みま
す。

また、県が実施する小学校1年
生と2年生の35人学級を、市独自
で小学校3年生と中学校1年生で
も実施します。これまで以上に子
どもに寄り添い、きめ細かな指導
を展開します。

災害に強いまちづくりの推進

★民間非木造住宅耐震診断事業

大規模地震災害に備えて平成14
年度から実施している民間木造住
宅の無料耐震診断に加えて、鉄筋
コンクリート造りや鉄骨造りの非
木造住宅の耐震診断を実施する方
にその費用の一部を補助します。

明るく元気なまち蒲郡

水竹町下沖田地内に、さらなる

防災体制の確立に向けた新消防庁 舎の建設に取り掛かります。

20年度は敷地造成をはじめ本体
工事などに着手します。

積極的な健康づくり

★一般不妊治療助成事業および妊 婦健康診査事業

不妊で悩む夫婦に対する支援と
して、一般不妊治療に要した自己
負担額の2分の1（上限年間5万
円）を2年間助成します。

また、出産を控えた母体と胎児
の健康確保のため、公費負担によ
る妊婦健康診査を5回に増やし、
妊娠・出産にかかる経済的負担の
軽減を図っていきます。

また、出産を控えた母体と胎児
の健康確保のため、公費負担によ
る妊婦健康診査を5回に増やし、
妊娠・出産にかかる経済的負担の
軽減を図っていきます。

自然と共生するまち蒲郡

★プラスチック製容器包装分別収 集事業および資源物朝出し事業

ごみの処理および資源化、減量化
の実現を図ります。

人と情報が行き交うまちづくり

★協働まちづくり基金の創設

よりよいまちにするためには、
「自分たちのまちは自分たちで育
てていく」という気持ちをもち、
市民と行政が協働してまちを育て
る（つくる）ことが必要です。この
協働のまちづくりを推進するため
に、皆さんに納めていただいた市
民税や寄附金などで市民の皆さん
が支える協働まちづくり基金を創
設します。

産業の振興と経済の活性化

★商店街活性化と企業誘致および 観光振興

福寿稻荷ごりやく市をはじめ、
各商店街の活動を支援し、商店街

への誘客、活性化を図る事業を行
います。また、産業の立地促進、
既存産業の支援および雇用の拡大
を図るため、新たな投資に対して
奨励金を交付するとともに、この
制度の周知を図り企業誘致を進め
ます。

「観光交流立市・蒲郡」として、
市と蒲郡市観光協会の組織の強化
を図り、観光宿泊客2割アップを
目指します。

19年度から各1地区で試行して
いる2つの事業は、モデル地区の
皆様の積極的な協力によって効果
が上がり、ステーションもきれい
に管理されています。新年度は実
施地区をそれぞれ3地区に増やし
て試行していきます。